会議結果報告書

| | |
|---|---|
| 1　会議名 | ごみ処理に関する課題についての意見交換会（浜須賀自治会、浜須賀住宅自治会、翠松会自治会、松濤会自治会） |
| 2　日時 | 平成 30 年 6 月 24 日（日）14：00～15：30 |
| 3　場所 | 浜須賀会館 |
| 4　出席者 | （資源循環課）熊澤課長、原田副主査<br>（環境事業センター）小川所長補佐、加藤所長補佐<br>（浜須賀自治会、浜須賀住宅自治会、翠松会自治会、松濤会自治会）参加人数：23 人 |
| 5　内容 | 本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。<br><br>●説明や資料を通じて、すでに有料化が決定しているような印象を受ける。<br>●意見交換会と言っているが、アリバイ作りである。<br>→有料化や戸別収集については現在検討を行っている段階であり、決定事項ではない。<br>●検討が進んだ段階でまた説明をするのか。<br>→今後適宜説明をさせていただく予定である。<br>●実施が決まっていないのに、アンケートをやるのは意味がない。<br>●一時間程度の意見交換会では十分理解を深めることは困難である。<br><br>●若い世代や外国人に対する啓発が大切である。<br><br>●有料化となった場合、落ち葉や剪定枝はどうしたらよいのか。以前は、自宅で燃やしていたが、市で規制をかけた上に、有料化するのには納得がいかない。敷地が広く、落ち葉などの量も大量である。負担を求めるなら、非課税の世帯からもきちんとお金を取るべきである。有料化ではなく、住民税を上げればよいのではないか。<br><br>●お金が掛かるのであれば、ごみを減らそうという意識が働くということは理解できる。啓発には限界があり、有料化が効果的な減量方策であるとはっきり言うべきである。有料化によりごみが減ることを期待したい。その際の費用については、生活保護世帯も当然負担すべきである。<br><br>●家庭の燃やせるごみの内、約２５％は削減できる余地があるということであるが、実際にはどのくらい減らせると考えているのか。地球の環境や最終処分場の問題と、分別や有料化の問題は次元が違う。ひとつにまとめて議論してもわからない。<br><br>●約２５％という数値の根拠はあるのか。どの程度ごみを減らす必要があり、それを達成するために有料化をするという説明がなければ、新たな負担については納得できない。根拠があいまいである。 |

| | |
|---|---|
| | ●施設整備に費用が掛かるなら、予め予算を確保しておけばよいのではないか。有料化で捻出すること自体がおかしい。<br><br>●ごみの減量ということであるが、県内の他市の状況を見るとごみの減量は下げ止まっている。また、有料化は税金の二重取りである。したがって、有料化については反対である。<br>→下げ止まってしまうことについては、有料化に対し住民の感覚が慣れてしまうという要因がある。<br><br>●資料に記載されている数値は確定値ということでよいのか。<br>→実績については確定値であるが、今後の見込みについては推計値となっているため、今後の調査を踏まえ、修正を行う可能性がある。修正した際には改めてお示しさせていただく。<br><br>●デメリットや導入理由も含め、県内の他市の事例をもっと詳しく紹介してもらいたい。<br><br>●消費増税などで市民の生活が苦しい中、受益者負担を求められることについて、納得はできない。<br><br>●未利用食品の割合はどのように把握しているのか。<br>→実際に収集したもののサンプル調査を行い、数値を確認している。<br><br>●袋の値段については、４５リットルで９０円ということか。世帯人数が多ければ、相当な金額が掛かると思われる。<br>→県内の他市では、世帯の人数やごみ量に応じて、複数のサイズの袋を作成している。また、剪定枝や落ち葉などを有料化の対象としない例もある。<br><br>●県内の他市では、一人当たりの負担額が 1,500 円程度となっているが、世帯人数が複数である場合は、その分費用が掛かるということか。<br>→世帯人数を掛けていただいた金額が一世帯の目安となる。<br><br>●戸別収集の導入メリットとして、通行への支障が解消されるとあるが、細い道での渋滞について、どう考えているのか。実際に問題が生じてから、対処するのか。<br>→渋滞や危険性にも十分に配慮し、細い道では、軽トラックによる収集を行っているという事例がある。今後の検討の中で、事前に十分検証をしていく。<br>●軽トラックを導入する場合には、新たに経費が掛かるのではないか。 |

| | |
|---|---|
| | →実際にどの程度、車両や経費が増えるかということについて、現在調査を行っており、十分検証した上で結論を出していく。<br><br>●藤沢市と茅ヶ崎市の境界において、不法投棄が発生しているが、どのような対策を講じているのか。<br>→過去に藤沢市に対し強く働きかけを行っている。改めて対処をお願いしていく。<br><br>●財源がないのであれば、リサイクルの工場を建てればよいのではないか。様々なアイデアを考えてもらいたい。<br><br>●広報紙などで、多くの市民の方に情報を発信していけば、理解が深まるのではないか。<br><br>以上 |